

長期間ケーブルを守り続ける

いつ

1958年～

どこで

関門国道トンネル

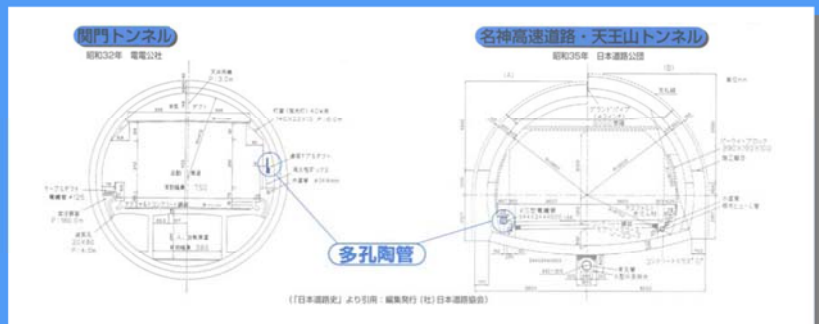
どうして

通信ケーブル保護管として採用

そうして

約50年経過した現在も管路として使用され続けている。

関門国道トンネル以外にも、1963年にわが国初の高速道路「名神高速道路(栗東IC～尼崎IC)」にも採用され、天王山、梶原、大津、蟬丸、彦根、八日市等のトンネルでも使用され続けている。



関門トンネルで50年の使用実績

高品質

長い間変形なく

ケーブルを保護

北海道～沖縄で

場所を選ばない

自然条件を選ばない

どこで

北は北海道、南は沖縄。山岳地帯や海岸埋立地。

どうして

気象条件・土質・土壌を選ばない。

そうして

全国津々浦々で様々なケーブルを守っています。

トンネル



電線共同溝



空港



発電所

